

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

平成26年8月広島豪雨災害からの復旧に向け方治山事業の取り組み状況

平成26年8月に発生した広島豪雨災害では、死者77名という甚大な被害が生じ、国有林野内においても、広島市安佐北区の高松山国有林、同市安佐南区の犬戻鳴山国有林、同市西区の新庄山国有林で、数多くの土砂崩れが発生しました。

このため広島森林管理署では、二次災害防止に向けた対策として、大型土のう、土石流センサー、強靱ワイヤーネット等応急対策を直ちに実施しました。また、学識経験者からの指導・助言を頂くため「8月19日からの大雨による広島市における山地災害対策検討会」を設置し、本格的な復旧計画の策定及び災害に強い森林づくりに向けた方策について検討しました。このうち緊急に対策を講じる必要がある15箇所について、平成28年10月20日に施工を完了しました。

この間、緊急対策の実施に当たっては、国、広島県、広島市の関係機関による協議会を設置して工事を進め、定期的に復旧の進捗状況を地元住民の方へ情報提供をするとともに、工事の状況や事業内容については、説明会を現地で開催するなど地元住民の理解を得ながら復旧を実施してきました。

今後も引き続き、広島市の復興まちづくりビジョンで掲げる「集中復興期間」の平成31年度までに、方治山ダム等を整備し、復旧計画の完了を目指して取り組んでまいります。



災害直後の高松山国有林（広島市安佐北区）



強靱ワイヤーネット工



地元住民の方への復旧状況説明会



土石流を捉えた方治山ダム

既設の方治山ダムは今回の災害において、土砂を捉え、越流した土砂が宅地等に流出するのを遅らせ、氾濫・堆積の範囲及び堆積深を減少する等の減災効果が確認されました。また森林においても、崩壊土砂流出防止等、土石流等の抑止・抑制効果が現われていました。

高さ日本一に! はなせ花脊の三本杉

【京都大阪森林管理事務所】京都市左京区の大悲山国有林2林班な小班に生育している花脊の三本杉は、地元では樹齢1000年と伝わり、1154年創建の峰定寺（ぶじょうじ）の「ご神木」として古くから信仰を集めるなど、地域のシンボルツリーとして親しまれていました。また林野庁が平成12年に設定した「森の巨人たち百選」の一つに選定され、推定樹高は35mとされていました。

しかし、35mという樹高を疑問視する声もあり、昨年秋に小型無人機「ドローン」で簡易測定を行ったところ60m程度の樹高があることが判明したので、森林総合研究所関西支所の協力を得て、樹高測定機器で詳しく測り直す事にしました。

平成29年6月から数回測定し、最終測定を11月13日に実施した結果、三本ある幹〔東幹・北西幹・西幹〕のうち東幹が高さ62.3mと判明し、これまで国内最高とされてきた愛知県新城市の傘杉（高さ59.6m）を上回り、現段階で把握されているスギの中では日本一の高さであることがわかりました。ちなみに〔北西幹〕が第2位（60.7m）で、〔西幹〕は57.2mであり、この三本杉は谷底に生育しているため、高さの割に、台風や雷の影響を受けずに育ったのではないかと考えられます。

これを受け、11月28日現地でマスコミに発表したところ、予想を上回る大反響となり各社の新聞に掲載されたり、テレビで放映されました。それ以降、三本杉を訪れる人が急激に増え、日本一となった凄さを感じています。今後も峰定寺、地元自治会などと協力して、花脊の三本杉を末永く保全していきたいと考えています。

※ 花脊の三本杉樹高測定結果の詳細は、「[近畿中国 花脊の三本杉](#)」で検索するとご覧いただけます。



花脊の三本杉



日本一 62.3m

ニュース

森林ふれあいイベント

「見て・さわって・樹木と友だちになろう」冬

【技術普及課】 12月17日（日）、近畿中国森林管理局 1階展示ギャラリーにおいて、国有林を含めた森林全体の役割や大切さについて考え、自然に興味を抱いてもらうことを目的として、大阪森林インストラクター会との共催による森林ふれあいイベントを開催しました。

当日は家族連れを中心に約20名の参加があり、冬の寒い日ではありましたが、4歳から60歳代まで幅広い年代の方々に、自然と向き合う時間を楽しんでもらいました。

参加者は最初に、庁舎前の毛馬桜之宮公園で、大阪森林インストラクター会の方から草



花や樹木の豆知識を聞きながら公園内を散策し、その後、「この指とまれ」というネイチャーゲームを通じて生き物の特徴について理解を深めました。

その後室内に戻り、局職員の「国有林のおはなし」を聞いた後に、自然素材を使った「クリスマスリース作り」、「丸太切り体験」、「木づちで割って作る円板パズル作り」をそれぞれ体験しました。

参加者からは「一度に色々なことができて楽しかった」、「木（丸太）を切るのが意外に難しかった」、「身近な自然の不思議を楽しく学べました」、「リース作りが楽しかった」など多くの感想をいただきました。



森林のギャラリー(局庁舎1階)

1/15～2/2 「大山の自然と治山」フォトコンテスト作品展

【企画展示（治山課）】

1/15～2/28 森林環境教育（森林ESD）の活動紹介

【企画展示（箕面森林ふれあい推進センター）】

2/1～2/28 局の業務紹介（各署等の取組紹介）

【企画展示（技術普及課）】

花草木

今月の花草木は「なんてん（南天）」です。南天はメギ科ナンテン属の常緑低木で、日本や中国などでよく見られる植物です。

日本ではナンテンが「難転」～難を転じて福となす～に通じることから、縁起木とされ、鬼門または裏鬼門に植えると良いなどともいわれています。

葉には抗菌作用があり、厄除けと合わせ赤飯に添えられたりもしています。

また実には咳止め効果がある成分が含まれており「南天のど飴」は聞いたことがあるのではないのでしょうか。

南天が全国各地に広まったのは、赤く熟した実を鳥が好んで食べ、それが糞に混じって種子が広まったと言われています。赤い実を種子を運ばせる仕掛けが秘められていたわけです。

初夏に白い花が咲き、花言葉は「機知に富む・福をなす・良い家庭」など

シリーズ 『国有林 最前線!』

総務課

～職場見学会や業務説明会、職場体験を実施中～

近畿中国森林管理局では、林野庁・国有林の業務を理解していただくため、また、興味を持っていただき、将来、仲間として働いていただけるよう、中学生から大学生に至るまで幅広く、多くの学生を対象に職場見学会や業務説明会、職場体験に力を注いでいます。

「国有林（森林）」という自然を相手とした職場であり、国民の皆様の生活には欠かせない重要な役割に携わっていることを説明し体験等をしていただいております。

とてもやり甲斐のある職場ですので、ご興味を抱かれた方は、是非、総務課までご連絡ください。

因みに、近年の採用状況につきましては、林野庁全体で毎年、大卒者・高卒者を合わせて百数十名の新しい仲間が生まれ、その内、約3割は女性の方となっております。



職場見学会



中学生の職場体験

島根森林管理署

日原治山事業所

治山技術官

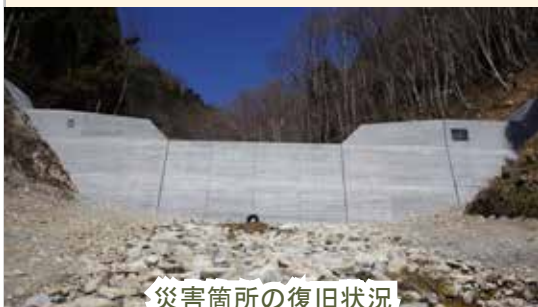
井上正人

日原治山事業所は島根県の最西部に位置し、益田市・鹿足郡の全域（1市2町）に所在する国有林で治山事業を行っています。

管内のほぼ全域が平成19年～28年の10年間で5回の水質日本一に輝いた高津川水系（一級河川で唯一、支流を含めてダムが一切無い）に含まれ、鮎漁とワサビの栽培が盛んな地域となっています。

平成25年に島根県と山口県の県境を中心に発生した災害では24時間雨量が観測史上最大を記録する地点もあり、国有林から流出した土砂が道路を寸断するなど、民有林を含め甚大な被害をもたらしました。その復旧工事も一部の地域を除き完了していますが、当時の災害を教訓に、今後も現地の状況を常に把握し、必要な事業を実施することとしています。その他に、山地災害危険地区に指定している国有林において、隣接する民家等への落石を防止するための山腹工事を実施しています。

また、治山事業の重要性を広く知っていただくため、毎年近隣の小学校で「治山」について森林教室を行っています。今年度も災害箇所での復旧状況や森林と荒廃地の土砂流出量の違いなどクイズ形式で説明しました。初めて聞く内容に小学生からは驚きの声が聞かれ、工事完成で完結ではなく、このような普及活動にもより一層取り組んでいきたいと改めて感じました。



災害箇所の復旧状況



民家近隣での落石防止対策工事



小学校での森林教室